

(資料提供)

月 日	担当館名	電話	担当者
2月3日	徳島県立近代美術館	tel:088-668-1088 fax:088-668-7198	学芸員 江川、森

徳島のコレクション 2012- 「特集 受贈記念 山下菊二」の開催について

1. 趣旨

徳島県立近代美術館は、昨年3月に山下昌子氏(山下菊二夫人)から、山下菊二の作品や遺品を一括してご寄贈いただきました。山下が亡くなった後も、そのままアトリエに遺されていたもので、山下の作品 1,719 点、遺品 3,272 点、その他の資料 236 点という膨大な資料群です。今回の特集では、整理を終えたこれらの資料をご紹介します。通常の特集展示は、展示室1の一角で開催していますが、今回は展示室3に場所を変え、まとまった展示を行います。

ご寄贈いただいた資料には、これまで公開されることがなかった作品が少なくありません。また、制作の過程を示す画稿や素描類、作品のテーマとなった社会問題に関するスクラップブックなど、山下の思索や制作の過程を浮き彫りにする貴重な資料が含まれています。この機会に、ぜひ山下の作品世界にふれていただければと思います。

2. 山下菊二略歴

山下菊二(大正8年 - 昭和61年)は、徳島県三好郡辻村(現三好市井川町辻)に生まれました。香川県立工芸学校を経て上京し、福沢一郎に師事してシュルレアリスムの洗礼を受けました。戦争中は二度にわたって召集を受け、戦後は自らの戦争体験を問い直すことで、戦争や差別の問題など、様々な社会問題に関心を深めていきました。作品を通じて人権侵害の問題を社会に訴えかけることを、自らの制作の課題としています。しかし、昭和50年に脊髄性筋萎縮症と診断され、晩年は病を押しての制作でした。

山下は戦後間もない昭和21年に前衛美術会の結成に参加し、以降、前衛美術展やニッポン展、平和美術展などに出品しました。晩年は個展や、友人たちと作った从会(ひとひとかい)展を中心に作品を発表しています。画壇の権威とは無縁な場所で活動を続けた山下ですが、画面に幾重にも重なる豊かなイメージと、作品に込められた揺るぎないメッセージは、日本の美術家には類い稀なものです。現在では戦後日本美術を代表する画家の一人と目されています。

2. 会期：2012年2月4日(土) - 4月8日(日)

3. 会場：徳島県立近代美術館 2階 展示室3

4. 主催：徳島県立近代美術館

5. 開館時間：午前9時30分～午後5時

6. 休館日：月曜日

8. 観覧料：一般 200円(160円)

高校生・大学生 100円(80円)

小学生・中学生 50円(50円)

()内は団体(20名以上)の場合

障害者、高齢者(65歳以上)は、観覧料が半額になります。

小・中・高生は土・日、春休み期間中の観覧料が無料になります。

一般は祝日の観覧料が無料になります。

9. 出品内容

油彩画、パステル 44点

水彩画 3点

コラージュ、 34点

版画 13点

素描 80点

計204点

その他遺品、旧蔵書等

10. 関連事業

展覧会オープン記念「三番叟まわし」「箱廻し」

山下菊二が生まれ育った徳島県の西部に伝わる伝統芸能です。展覧会のオープンを祝って、阿波木偶箱廻しを復活する会の皆さまが、会場で披露して下さいます。

出演：阿波木偶箱廻しを復活する会

日時：2月4日（土）午前10時から10時45分

場所：展示室3（観覧券をお求め下さい。）

学芸員による展示解説

日時：2月26日（日）、3月18日（日）いずれも午後2時から2時45分

場所：展示室3（観覧券をお求め下さい。）

とくしま近美こども鑑賞クラブ

日時：2月25日（日）いずれも午後2時から2時45分

場所：展示室3（観覧券をお求め下さい）

【参考】

山下昌子氏寄贈資料点数

山下菊二作品	1,719 点
油彩画（含未完成作品）	107 点
コラージュ（含未完成作品）	119 点
パステル画（含未完成作品）	15 点
水彩画	168 点
版画	268 点
素描	1,034 点
立体物	3 点
その他	5 点
他者の作品（生前に山下が、友人、知人から贈られていた作品）	112 点
遺品（画材、日記、原稿、書簡、写真、スクラップブック等）	3,272 点
山下昌子氏旧蔵品（昌子氏が収集した山下菊二に関する資料）	100 点
堤惟好氏（山下菊二従兄弟）旧蔵品 （堤氏が収集し、山下昌子氏が譲り受けた山下菊二に関する資料）	24 点